朝日町立宮宿小学校 学校だより No.１８　令和４年１２月１６日　校長 秋場 一憲

繋 かぼちゃっこ

「笑顔きらきら・夢いっぱい・いきいきチャレンジ宮小っ子」

HPアクセスQRコード

子供たちの言葉や表情、体全体で生き生きと「発信」

～ 2学期の教育活動を総括して ～

夏、秋、冬と３つの季節に跨った２学期の学校生活が、まもなく終わります。子供たちと教職員が心と力を合わせ、しなやかに日々の教育活動に取り組んできました。２学期は、大きな学校行事や活動が目白押し。それを大きな発信の場ととらえ、子供たちが言葉や表情、体全体を使って思いや願いを生き生きと発表してきました。また、それに対し保護者やご家族、地域の皆様方から温かいご感想をいただいたことで、大きな励みとなりました。主なものを、下記で改めて振り返りたいと思います。

【第７５回かぼちゃ大運動会】

地域の皆様に支えられた歴史と伝統ある運動会。７５回目の節目となる意義を子供たちが理解し、６年生を柱とした各種競技や応援はとても見応えがありました。**「勝ちたい」という強い思いを全身で発信しました！！**

【校内持久走記録会】

体育の学習で目標をしっかりと決め、中間休みの時間も利用して走り込みました。そんな学校全体での底上げがあったからこそ、新記録が１つ出ました。**「自分を高めたい」という強い思いを走りで発信しました！！**

【学芸会】

「みんな輝く笑顔のステージ・感動でいっぱいの学芸会」を合言葉に、各学年が生き生きと発表。「英語って楽しい」「夢を持つことは大切」「仲間と協力」など、**大切なメッセージを言葉と表情と体で発信しました！！**

上記の他にも、全学年が生活科や総合的な学習の時間を利用して地域に飛び出し地域の魅力に触れたり、地域の方々を講師として授業を深めたりと、**地域学校協働活動をより一層進めることができました。**そして、**コロナ感染防止対策を継続徹底**したからこそ、すべての教育活動を中止せず実施することができました。保護者並びにご家族、地域の皆様方に、改めて感謝申し上げます。

ヴァイオリン公演を通して竜馬さんの生き方に学ぶ…

竜馬さんの奏でる美しいメロディに感動

朝日町「New アクション事業」と連携し、プロのヴァイオリニストである竜馬さんとピアニストの真島さんをお招きし、ヴァイオリン公演会を開きました。生のヴァイオリン演奏をお聴きできたという感動はもちろんですが、竜馬さんの夢を追い続けてきたお話は、子供たちの心に深く刻まれたと思います。実現にあたり準備くださった実行委員会の皆様、ご支援くださった町教育委員会の皆様に心から感謝申し上げます。

ピアニスト真島さん

児童代表の感想から

私は、ヴァイオリンとキーボードに合わせて手拍子をしたり、歌ったりするのがとても楽しかったです。竜馬さんのお話の中で、５歳からヴァイオリンを始めて、小学生で持ったプロのヴァイオリニストになりたいという夢が叶ったことが素晴らしいと思いました。私の夢は、パン屋を開くことです。竜馬さんからは、夢を声に出して言うことが良いと教えていただいたので、たくさん話したいと思いました。とてもきれいな演奏で楽しかったです。　**６年　山賀柑奈さん**

食育を大切にしています！！

１２月５日（月）から９日（金）までを「心を育む給食週間」とし、児童会健康委員会の子供たちが活躍する場を設けながら食の楽しさや大切さを考えさせてきました。特に、人気だったのが「東北各県の郷土料理」。日替わりで各県の有名な献立を味わうことができました。そのほかに、橘栄養教諭が、好ましい食習慣が身に付くよう各学年の子供たちに食育指導を行いました。なお、文部科学省から「黙食」について見直しの通知が届きましたが、子供たちの実態やコロナ感染状況を鑑み、これまで同様に「同じ方向を向いて、基本的に黙食」という対応を継続していきます。

食堂給食の様子

各県の郷土料理紹介

外国語指導について学び合う

朝日町教育研究所の外国語教育推進部会が主催する授業研究会を１２月６日（火）に本校会場として開催。３年担任 熊谷教諭が「What’s this?」を題材に授業を提案しました。子供たちは、体全体でヒントや答えを伝え、クイズ大会を思う存分楽しみました。「何でも言える」「言えなくとも、仲間とつながり安心できる」そんな温かな学級経営が背景にあることも話題になりました。今後も、小小・小中の連携と接続を大切にしていきます。

クイズ大会を楽しむ３年生